



第88回 情報科学談話会



システム情報数理学II分野
根元多佳子 准教授



言語情報学分野
齊藤いつみ 准教授



直観主義論理とその上の数学の話

数学の証明ではどんな論理を使っているのでしょうか？
例えば、「AかつB」が成り立つときは「A」が成り立つと考えてよいでしょう。このように、何からなにを導いてよいのかという規則の集まりが論理です。実はこの規則はそれほどたくさんありません。普通の数学で用いる論理は古典論理と呼ばれて排中律を認める論理です。
排中律を認めない論理は直観主義論理と呼ばれ、古典論理と比べると証明できることが少なく不便なところもあるのですが、計算機に証明を書かせる観点からすると、結構便利なこともあります。今回は、直観主義論理とその上の数学の紹介をします。

大規模言語モデルの現状と最新動向

ChatGPTに代表される大規模言語モデルの研究開発はここ数年で大きく進展し、世界中で急速にユーザ数が増加するなど社会に大きなインパクトを与えている。本発表では、これらの大規模言語モデルの到達点や課題について概観する。また、画像や音声などの非言語情報を理解可能にするためのマルチモーダル化、様々な外部ツールの活用、出力の信頼性評価、モデルによるフィードバック等、最新の研究動向と今後の展望について紹介する。

8.25 金

14:30~16:30

会場：情報科学研究科棟 2F大講義室
開催方法：対面開催
主催：東北大学大学院情報科学研究科